

1. 実験の背景

- 鹿島市では昨今訪日外国人旅行者が急増しているものの、**観光客は祐徳稲荷神社に集中する傾向**にある。
- 重点「道の駅」鹿島を含む他の市内観光地は利用客が少なく、市内観光地全体としての**回遊性に乏しい状況**である。
- 肥前浜宿では駐車場が少なく、空き待ち待機による渋滞発生が予想され、**交通安全上の問題発生が懸念**される。

2. 実験の目的

- 重点「道の駅」鹿島を含む鹿島市内の主要観光地(祐徳稲荷神社、肥前浜宿)間や鉄道駅(肥前浜駅)を結ぶ**周遊バスを運行**することで、**観光客の周遊を促し、市内観光地全体としての回遊性を向上**させる。
- 肥前浜宿の潜在的な課題である駐車場問題の解消を図るため、重点「道の駅」鹿島において**パークアンド循環バスライドを導入**する。

3. 実験内容

- 鹿島市の観光を支援する周遊バスの試行運行
- (1)観光地の来客数を観光施設から提供される来客数より把握。
- (2)複数観光地の訪問回数をアンケート調査により把握。
- (3)パークアンド周遊バスライドの利用者数をアンケート調査により把握。



図-1 周遊バス走行ルート



図-2 周遊バス利用の様子



図-3 周遊バスの運行ルート

4. 実験結果

(1) 鹿島市の観光を支援する周遊バスの試行運行

- 周遊バス本格運用の必要性を確認
- 市内移動手段を提供したことにより、市内観光地の周遊性が向上
- 観光施設での特典、道の駅における乗換用駐車場の設置などの要望が高い

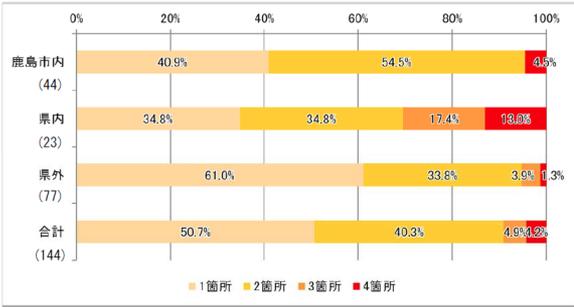
(2) 道の駅「鹿島」来客数の増加

- 道の駅「鹿島」の来客数が増加(前年度比102.8%)

(3) パークアンド周遊バスライドの利用

- 道の駅「鹿島」や肥前浜宿の駐車場を利用してバスへの乗換を確認
- 道の駅、観光施設等を乗換拠点として、市内を周遊

■周遊バス利用者の訪問箇所数 (国内在住者)



■周遊バス利用者の訪問箇所数 (外国人旅行者)

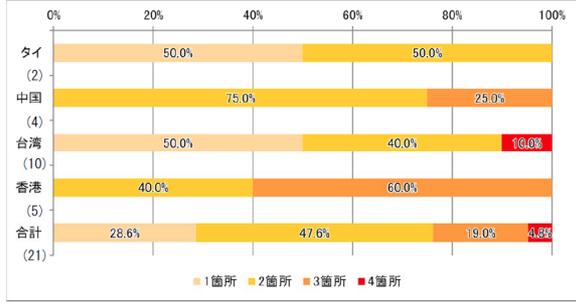
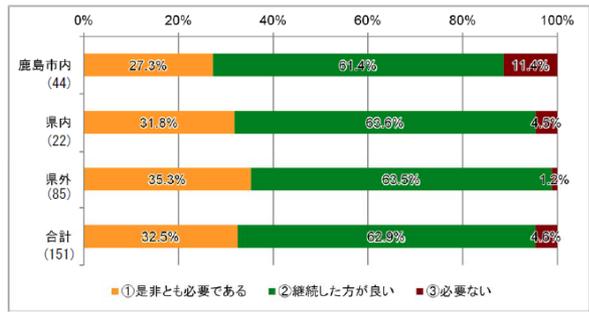
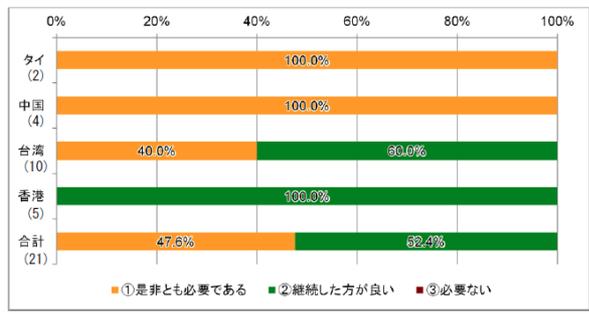


図-4 周遊バス利用者の訪問箇所数

■周遊バス本格運行の必要性 (国内在住者)



■周遊バス本格運行の必要性 (外国人旅行者)



※ () は回答件数

出典：アンケート調査

図-5 周遊バス本格運用の必要性

5. 本格実施に向けた課題

(1) 周遊バスの運行

- 運行ルート of 調整
- 付加価値の高いサービスの検討

(2) 道路利用

- パークアンド周遊バスライド駐車場の確保
- バス停等施設の再配置

(3) 採算性の確保

- 運行ルートの改善による利用の促進
- 自家用車からの乗換利用の促進
- 付加価値の高いサービスの検討
- 運行ルート、及びダイヤの効率化